

真一。

海外販路開拓に取り組んだ米穀出荷業の「白熊」が、香港とシンガポールへの三条産米売り込みを紹介。「イタリア野菜研究会」が他地域との交流を



挙げて、「産地間連携により広域の販路拡大が見込める」と展望を示した。

通年でマーケティングを学んだ「農業担い手育成塾」がネットやPOPなどの実践成果を発表。農産物直売や共同開発したケーキの試食も行われた。

座談会は国定勇人市長と育成塾の塾長今井進太郎さん、野菜ソムリエの山岸拓真さんが価格競争と一線を画した

魅力の発信について持論を展開。「農家個々の魅力や、体験などのさまざまな方法で、消費者の共感を得ていくことが大切」との意見で一致した。

## 農産物 魅力発信を

三 条

農業活性化へ向けて市が支援したグループらが取り

組みを報告する成果発表大会が9日、市内で開かれた。三条の農産物の魅力や売り方がテーマの座談会もあり、約90人が農業の可能性などを学んだ＝写